

2008年の株式会社化以降の4回にわたる中期経営計画の遂行を通じて、DBJグループは「投融資一体」に向けたリスクマネー供給の強化とリスク管理機能の高度化を進めてきました。2021年5月には、民間金融機関等との連携・協働のもと、リスクマネーやナレッジを活用してお客様の課題解決を通じた持続的成長へ貢献すべく、5カ年の行動計画として「第5次中期経営計画」を策定しました。さらに、新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響からの回復や外部環境の大きな変化を受け、中計期間残り3年間で特に強化するポイントを示すため、2023年5月に「第5次中期経営計画 強化・見直し」を公表しました。

第5次中期経営計画「つなぐ、共につくる」

2021 ————— 2022 —————

当初2年間の主な成果・取組

新型コロナウイルス感染症に関する危機対応業務

他金融機関と連携しつつ、危機対応業務に注力し、顧客企業のコロナ禍からの回復・成長をサポート

2023年3月までに **約2.5兆円**の資金を供給

GRIT 戦略*

持続可能な社会の実現に向けたお客様の取組をサポートするため、5年間で累計5.5兆円のGRIT関連投融資を計画し、順調に積み上げ

2023年3月までのGRIT関連投融資額 **約2.1兆円**

* GRIT戦略：持続可能な社会の実現に向けた投融資戦略

G Green R Resilience & Recovery
I Innovation T Transition / Transformation

第5次中期経営計画 強化・見直し

マテリアリティの再整理

2023 ————— 2024 ————— 2025 —————>

外部環境の現状認識

リスクの高まり

マクロ経済環境の変化
地政学リスクの高まり
経済的不確実性の高まり
人口減少の加速化

新たな潮流

脱炭素に向けたGXの加速
スタートアップへの期待
人的投資の強化
グローバルサプライチェーン再構築

外部環境の変化を受け、第5次中計の骨格は維持しつつ、4つの取組を強化

4つの強化ポイントと取組概要

<p>強化ポイント1</p> <p>リスクマネー供給</p> <hr/> <p>強化ポイント2</p> <p>新事業創出支援</p> <hr/> <p>強化ポイント3</p> <p>地域×トランジション</p> <hr/> <p>強化ポイント4</p> <p>人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 投資業務強化 (インダストリー分野への専任チーム創設等) ● スタートアップへの投資強化 ● 顧客発の新事業へのサポート ● 地域の脱炭素ビジョンの提示 ● 顧客エンゲージメント強化 ● 変化対応力を有する人材の育成
--	---

“つなぐ”機能を
グループ一体で
発揮・強化し、
マテリアリティを念頭に
更なる継続的・創造的な
挑戦を実施

強化ポイント1

リスクマネー供給

実行目標額 **1兆円**

(2023-2025)

2023年4月～2025年3月 累計

8,445億円

具体取組・進捗

- SWCCと共同したTOTOKU株式取得による、電線・ケーブル分野での競争力強化を支援 P.48



強化ポイント2

新事業創出支援

実行目標額 **1,000億円**

(2023-2025)

2023年4月～2025年3月 累計

1,366億円

具体取組・進捗

- AI向け先端半導体の開発強化を支援 (Preferred Networksに対する出資) P.49



強化ポイント3

地域×トランジション

2050年カーボンニュートラル

に向けた取組加速

具体取組・進捗

- GX技術に関する調査・投融资案件の実現(ペロブスカイト太陽電池) P.42
- 地域金融機関(大分銀行、山陰合同銀行、群馬銀行、めぶきFG)と連携した地域のカーボンニュートラル戦略にかかる協働調査を実施 P.54

GRIT戦略 2021年4月～2025年3月累計 **4.6兆円** / 5.5兆円(危機対応融資を除く全体の約4割)

強化ポイント4

人材育成

職員の多様な経験

(グローバル、地域、投資等)

具体取組・進捗

- 職員が多様な経験を積み、挑戦できる環境を作るための各種施策を実行

継続

- 留学・海外機関等への派遣機会の大幅拡充
- 若手職員への1カ月間の挑戦期間の付与

新規

- 海外ビジネススクール主催のDX/AI研修への参加
- 生成AIの活用に向けたワークショップ開催